

私共は、鹿児島市内を中心に就労継続支援 B 型 3 拠点、共同生活援助 4 拠点、放課後等デイサービス 2 拠点を運営させて頂いております。また、子会社の株式会社ひふみよベースファームが大隅半島にて農福連携を行う就労継続支援 B 型 1 拠点運営しております。

大きな特徴として、2015 年より就労継続支援 B 型で在宅における就労支援を積極的に展開しております。これは、事業開始時期より ICT は当事者にとって福音となるという信念に基づいてのことです。

また、放課後等デイサービスでは、VR テクノロジーを早い段階から導入し、ICT×福祉を力強く推し進めており、障がい当事者が主人公となるステージとして、レストランや食品工場の運営を行っているほか、令和 4 年にはソーシャルファーム（社会的共同組合/企業）の実現を目指して、クラフトビールの醸造所を開設しています。

さて、鹿児島県は南北 600km にわたる広大なエリアを有し、離島や過疎地域も多く、その中で様々な時代的・地政学的要因を有する県です。本県の障害福祉事業者は、この広大かつ多様な状況の中で支援に励んでいます。だからこそ、事業者が抱える課題も多様であるが故に、私たち介事連の活動は大きな意味を持つと考えております。

九州ではじめての障害福祉事業部会 鹿児島県支部ではありますが、正しく運営を行う事業者が未来永劫、当事者を支援していくことができる持続可能な障害福祉制度の実現を目指し、法人種別を問わず鹿児島県の障害福祉事業者様が持つニーズや生の声ををしっかりと国や政府にお届けするために取り組んで参ります。

皆様と連携・協働し、未来を切り開く活動を推し進めていく所存です。

何卒ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

白澤 繁樹（しらさわ しげき）1976 年鹿児島市生まれ。

ひふみよ株式会社 代表取締役

大学中退後に IT ベンチャー 企業やクリエイティブ業界を経て 2015 年に障害福祉分野に進出。

2022 年よりビール醸造家のキャリアもスタート。地域では PTA 改革などの活動も積極的に行う。

現在、日本福祉大 通信学部 2 年生。

◆抗原検査キットにおける会員価格でのご提供について

・株式会社イメージワン

⇒インフルエンザウイルスと同時検査可能なキットのご案内です。

添付ファイル（①イムノエース SARS-CoV-2 II ②クリニテスト COVID-19 抗原迅速テスト ③KBM ラインチェック.pdf）

<https://dl.nx1k.jp/6e82d068-5668-4a11-b758-f77d3b4676f2>

・ジャパンヘルスケアサービス株式会社

添付ファイル（①JOYSBIO 新型コロナウイルス抗原検査キット ②Panbio COVID-19 Antigen ラピッドテスト.pdf）

<https://dl.nx1k.jp/df74f8da-3758-45b2-9a92-6973a3239e7e>

◆「大阪府支部 年次総会・障害福祉事業部会 大阪府支部 設立総会」を開催いたします（2022 年 11 月 4 日）

<http://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/09/oosaka20221104.pdf>

◆「石川県支部 設立総会・セミナー」を開催いたします（2022年11月5日）

<http://kaiziren.or.jp/event/request/2022/ishikawa-soukai/>

◆「北海道支部 年次総会・障害福祉事業部会 北海道支部 設立総会」を開催いたします（2022年11月26日）

<http://kaiziren.or.jp/event/request/2022/hokkaido1126/>

◆「香川県支部 設立総会・記念講演」を開催いたします（2022年12月7日）

<http://kaiziren.or.jp/event/request/2022/kagawa1207/>

◆「徳島県支部 設立総会・記念講演」を開催いたします（2022年12月8日）

<http://kaiziren.or.jp/event/request/2022/tokushima1208/>

◆2024年度 介護保険法改正の展望～無料オンラインセミナー～

主催：株式会社EMシステムズ

日時：11月29日（火）16:00～17:00

講師：一般社団法人全国介護事業者連盟 理事長 斉藤正行

お申し込みはこちらからお願いいたします

https://zoom.us/webinar/register/WN_IuDIR3SDSIaIU92MNVcvKA

◆日本デイサービス協会が選ぶ、2023年デイサービス5選エントリー申し込みフォーム（2022年11月30日締め切り）

<https://pf.japandayservice.com/grand-prix/>

◆全国介護事業者連盟公式チャンネル 介護チャンネル

介護・福祉現場における職員間の円滑なコミュニケーションの秘訣

<https://www.youtube.com/watch?v=y5EIuH35h4g>

介護・障害福祉分野における新しい人材戦略の方程式

<https://www.youtube.com/watch?v=Ik2C7IELnaQ>

要介護1・2の介護保険外し 訪問介護・通所介護の行く末を徹底検証

<https://www.youtube.com/watch?v=M-RqNX-PmVQ>

『ABEMA Prime』出演の裏話と伝えきれなかったこと

<https://www.youtube.com/watch?v=xqp8QTM2aoQ>

【全国介護事業者連盟動向】

- 10月17日 介護保険制度改革『給付と負担』に関する財務省主計局との意見交換会の開催（東京都 オンライン）
- 10月17日 四国支部幹事会の開催（オンライン）
- 10月17日 香川県支部幹事会の開催（オンライン）
- 10月20日 関西支部・大阪府支部・兵庫県支部・京都府支部・障害福祉事業部会 京都府支部幹事会の合同開催（オンライン）
- 10月24日 障害福祉事業部会 第7回 役員会の開催（オンライン）
- 10月25日 厚生労働省『障害児通所支援に関する検討会』第4回検討会に障害福祉事業部会 中川亮 会長が出席（オンライン）

- 10月27日 「介護人材の確保に関する勉強会」(国会議員・厚生労働省・関係団体による)に齊藤理事長、久野副理事長が出席(東京都)
- 10月27日 東北支部幹事会の開催(オンライン)
- 10月28日 障害福祉事業部会 北海道支部幹事会の開催(オンライン)
- 10月29日 京都府支部・障害福祉事業部会 京都府支部 合同設立総会・セミナーの開催(京都府 オンライン)

■ 厚生労働省ニュース/内閣府ニュース

第99回社会保障審議会介護保険部会

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_28430.html

第14回規制改革推進会議

<https://www8.cao.go.jp/kisei-kaikaku/kisei/meeting/committee/221013/agenda.html>

第100回社会保障審議会介護保険部会

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_28740.html

■ 介護・障害福祉ニュース

〔大改革〕24年同時改定の方向性を徹底解説／一般社団法人全国介護事業者連盟 齊藤正行理事長

https://www.koureisha-jutaku.com/newspaper/synthesis/20221005_18_1/

2040年 医療・福祉就業者数 96万人不足 厚生労働白書

https://www.koureisha-jutaku.com/newspaper/synthesis/20221005_02_1/

介護助手の人員配置基準上の位置付け、次期報酬改定の論点に 厚労省 検討を進める意向

<https://www.joint-kaigo.com/articles/3023/>

【齊藤正行】特養にも変革が求められる時代へ。入所基準の見直しは変遷の契機となる

<https://www.joint-kaigo.com/articles/2812/>

【まとめ】“要介護1と2の保険外し”とは何か なぜ論点になっているのか

<https://www.joint-kaigo.com/articles/2980/>

岸田首相、介護の利用者負担引き上げを前向きに検討する方針を表明 「能力のある方に負担して頂く」

<https://www.joint-kaigo.com/articles/2798/>

介護事業所の管理者、常駐・専任の緩和を検討 厚労省方針 テレワークなど可に 複数兼務も論点

<https://www.joint-kaigo.com/articles/2716/>

介護事業所の管理者、人員配置基準の見直しを検討 政府 規制改革の「重要課題」に

<https://www.joint-kaigo.com/articles/2681/>



多様な介護サービス展開は何のため？ 「他サービスを知る」ことが良好な関係構築に

ある介護事業者は会社自体の規模は大きくはありませんが、住宅型有老、居宅介護支援、訪問介護、デイ、福祉用具、訪問マッサージなど多様なサービスを手がけています。

近々訪問看護事業も立ち上げます。このように1企業が多様な介護サービスを手がける理由は「あらゆる介護ニーズに対応できる体制を整える」が大半です。

しかし、この会社は「外部事業所と良好な関係を築く」のが目的です。

「例えば外部の福祉用具事業所と連携する場合、福祉用具のことを全く知らなかったら、非常識・無茶な要求をしかねない。抱えている課題などを自身で体験することで良好な関係構築ができる」と社長は語ります。

「地域包括ケアを自社で行う」を目的に業務多角化を進める介護事業者は少なくありません。しかし1社で全ニーズへの対応はできません。どこかで他社の力が必要になります。

その際に自分たちの理屈や都合を押し付けてしまっていないか、改めて考える必要もありそうです。

【配信元】 一般社団法人全国介護事業者連盟 <http://kaiziren.or.jp/>

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-1-4 西脇ビル 4階

TEL : 03-5215-5063 FAX : 03-5215-5064

掲載内容の無断転載・再配布は固く禁じます。

配信不要の方はこちらにご連絡ください

info@kaiziren.or.jp